

## 細見氏、伊藤氏に大賞授与

### 東京で「海老の日」イベント



「獲る漁業からつくる漁業へ」と細見社長

日本海老協会（会長・藤井務毎味水産会長）は17日、JR有楽町駅前「海老の日」記念イベントを開き、日本水産の細見典男社長や全国水産卸

た細見社長はあいさつで「獲る漁業からつくる漁業にシフトするため、養殖に力を入れ国内でも生産している」と同社のバナメイエビ陸上養殖事業を紹介。

築地の地域発展に尽くして地域貢献部門で受賞した伊藤会長は「豊洲市場の安全面に疑問が出ているが、皆さまが安心して（市場経由の食品を）食べられることを第一に（移転準備に）臨んでい」と安心・安全に配慮した豊洲移転を進めると

式後にはエビの栄養価の紹介や落語、エビフライ、エビ天ぷら計4本を100円で提供するキッチンカーなど、盛りだくさんの内容で通行人らに海老の日をPRした。

落語は「学生のころ落語研究会で活動し、ここ10年で再開した」というシヨクリュー関西支社の蒲田裕彦商品部部長が披露。日本に輸入されるエビの種類や産地、日本海老協会の設立も盛り込んだ自作の「海老屋」で会場を沸かせた。

強調した。この他、すかいらーくの谷真社長、出光興産の月岡隆社長、落語芸術協会の桂歌丸会長が受賞した。